

第 1 章 計画の趣旨及び性格

第 2 章 経営基本構想

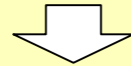
第 1 節 県営水道の今日の姿と目指す方向

〔県営水道の今日の姿〕
～ 300 万人の暮らしと活力を支える水の大動脈～
～ 全国屈指の技術力で安全・良質なおいしい水づくり～

〔目指す方向〕

時代の流れ

高度経済成長期 バブル崩壊、景気低迷の長期化、少子高齢社会の到来など
「量から質」へ、社会経済構造の転換・再構築 安定の「成熟型社会」へ



～ 成熟型社会にふさわしい持続可能なライフライン～

施設投資の最適化、浄水処理の高度化で安全・良質なおいしい水の安定供給
安定した経営基盤を持ち、行き届いたサービスと万全の危機管理でお客様の信頼と満足を獲得
環境施策を重視した経営の推進、県内水道の発展への貢献

第 2 節 主要経営課題

- 1 水源の確保、水道施設の大規模更新期の到来への対応
- 2 お客様サービスの一層の推進、次世代職員への技術の継承
- 3 危機管理体制の一層の充実
- 4 環境対策への継続的な取組
- 5 人材の確保と育成、経営体質の強化

第 3 節 経営の基本方針と 5 か年の基本目標 (目指す方向と経営課題を踏まえて)

経営の基本方針

安全で良質なおいしい水を将来にわたってお客様に安定的に供給できるよう、経営課題や社会経済情勢の変化に適切に対応し、目指す方向に着実に前進していきます。

5 か年の基本目標

- ・基本目標 1 安全で良質なおいしい水をいつでも供給できる水道
- ・基本目標 2 行き届いたサービスと高い技術力でお客様に奉仕する水道
- ・基本目標 3 地震等の非常時に強い水道
- ・基本目標 4 環境に優しい水道
- ・基本目標 5 安定した経営を持続できる水道

第 3 章 実施計画

5 か年の主要施策と主な取組

基本目標 1 安全で良質なおいしい水をいつでも供給できる水道

- ・安定給水の確保 (浄・給水場の設備等の更新、管路の更新・整備 など)
- ・安全で良質なおいしい水の供給 (高度浄水処理の導入、おいしい水づくりの推進 など)

基本目標 2 行き届いたサービスと高い技術力でお客様に奉仕する水道

- ・お客様サービスの推進 (広聴・広報の充実、新たな料金収納形態の検討 など)
- ・次世代への技術の継承 (実践的な技術研修の実施、体験型研修施設の整備検討 など)

基本目標 3 地震等の非常時に強い水道

- ・危機管理体制の強化 (応急活動体制の強化・拡充、緊急時における初期活動体制の強化 など)
- ・緊急時における水融通体制の確保 (浄・給水場間バックアップ体制の整備、水道用水供給団体との水融通体制の確保 など)

基本目標 4 環境に優しい水道

- ・環境対策の推進 (省エネルギー化の推進、資源リサイクルの推進 など)

基本目標 5 安定した経営を持続できる水道

- ・人材の確保と育成 (計画的な人材確保、職員の育成と能力開発 など)
- ・業務能率の向上 (能率的な業務運営の確保、情報化の推進 など)
- ・経営体質の強化 (品質確保に留意したコスト削減、収益の安定性の確保と財務改善、経営形態等に関する調査研究 など)

第 4 章 計画の推進に当たって

実施体制

第 1 節 チームスピリットの発揮

お客様をはじめ、水道関係に携わる研究機関、大学、事業組合などとの協働
他事業体等との情報交換の緊密化を図るとともに、県内水道の統合・広域化に向けた取組に参画
国際貢献の延長線上にある海外での水道事業展開の可能性について、国や他事業体の情報収集と併せて検討

第 2 節 財政収支見通し

施設整備等の事業費 1,391 億円
5 年間で企業債残高を 165 億円縮減

第 3 節 計画の進行管理

進行管理は内部評価と、外部有識者による第三者評価の二段階で実施。評価の結果を P D C A サイクルに反映
施策単位の成果目標と、施策を支える個別の取組 (又は事業) の達成目標を明確化